

令和6年度 学校評価(関係者評価)シート

(様式2)

学校名	加古川市立志方西小学校
-----	-------------

1 教育目標	「豊かな心を持ち、自ら学び、ともに生きる子の育成」
--------	---------------------------

2 基本方針
めざす児童像:よく考える子 ・素直で優しい子 ・元気で明るい子 めざす学校像:子どもと職員の幸福感があふれる学校(成長が実感できる「たのしい学校」・働き甲斐のある学校)

3 指導目標
魅力ある授業の創造 心の教育の充実 健康で安全な暮らしの推進 学校・家庭・地域との連携を深める

評価基準

A:できている B:だいたいできている C:あまりできていない D:できていない E:わからない

重点目標	評価項目	達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ（関係者評価）	達成状況
魅力ある授業の創造	楽しく学習している、基礎的な学習の力、自分の思いを伝える、ICT教育の推進	B	ICT活用のために、より効果的な方法等を検討し、積極的に取り入れていく。授業研究を充実させ、協同的探究学習の理念に基づいた授業づくりを推進する。	ICT活用について学年に応じた指導ができるように工夫したり評価の方法を検討したりするなど、ICT教育の推進の努力を期待したい。	B
心の教育の充実	思いやりのある子、豊かな心の育成、交流活動の充実	A	道徳教育を充実させるとともに、いじめを積極的に認知・情報共有し、未然防止・早期発見・早期対応に取り組む。異学年交流や他校との交流等を通して、温かい人間関係を築く。	交流活動は保護者意見からも充実していることがわかる。自然学校や修学旅行などの行事を志方3校で実施するなど、子どもの側に立った教育活動を期待したい。	A
健康で安全な暮らしの推進	体力の向上、健康や安全に対する意識、安全防災の意識	A	体育的行事、保健指導、生活指導、防災教育等を通して、健康・安全に過ごすための意識の向上を図る。	志方西地区では、津波の被害は想定されていないが、実際にどこで災害に合うかわからないため、津波を想定した垂直方向の避難訓練を行ってもよいのではないか。	A
学校・家庭・地域との連携を深める	情報発信、相談体制、地域と連携した取組、あいさつ	A	地域の教育力・教育資源を活用し、充実した「ため池ふるさと教育プログラム」を実践できた。令和9年度まで延長予定。スクレやHPを活用し、情報発信できた。	「ため池ふるさと教育プログラム」が6年目を迎え、充実した取組ができている。継続に向けて地域と連携を深めさらなる取組の充実を期待したい。アプリを活用した情報発信ができおり保護者の評価も高い。	A
学校運営 教員の資質向上 施設・設備について	PDCAサイクルを生かした学校運営、安心・安全な教育環境の整備、計画的な授業研究の実施	B	専門的なスキルをもつ教員や関係機関、保護者、地域等と協力・連携しながら、児童が安心して過ごせる教育環境の整備を行う。計画的に授業研究を実施し、授業力向上に努める。	PDCAサイクルを生かし、職員の意見を大切にした学校運営でよりよい学校づくりに努めることを期待したい。	B